

## 指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、平成26年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

### 1 指定概要

#### (1) 施設概要

名 称：北九州市立小倉母子寮

施設内容：①施設概要

敷地面積 (1,286.02 m<sup>2</sup>)、延床面積 (1,796.09 m<sup>2</sup>)

母子室30室、緊急一時保護室2室、学習室、集会室、保育室、相談室、静養室、事務室、宿直室等、駐車場

②事業内容

入所者の自立支援に関する業務（生活指導、就労指導、相談援助、健全育成）、退所者の相談援助、緊急一時保護事業、施設の管理に関する業務（庶務事務、維持管理業務）、その他の業務（事業計画等）

#### (2) 指定期間

平成27年4月1日～平成32年3月31日

#### (3) 指定管理者候補の概要

名 称：社会福祉法人北九州市小倉社会事業協会

所在地：北九州市小倉北区高尾2丁目5番20号

主な業務内容：救護施設1か所、養護老人ホーム1か所、母子生活支援施設1か所、保育所9か所、子育て支援施設1か所の管理・運営業務、訪問介護事業、居宅介護事業

### 2 指定の経緯

平成26年 8月 4日 募集要項配布

平成26年 9月24日 募集締め切り

平成26年10月16日 指定管理者検討会の開催

平成26年11月 指定管理者候補を決定

#### (1) 応募資格

社会福祉法人等の団体で、本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。

## (2) 応募状況

説明会参加：1 団体

応募件数：1 団体（社会福祉法人北九州市小倉社会事業協会）

## 3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

## 4 検討会構成員

- ・ [学識経験者] 田中 信利（北九州市立大学文学部人間関係学科教授）
- ・ [婦人代表] 田中 眞弓（北九州市母子寡婦福祉会理事長）
- ・ [市民代表] 平田 久美子（戸畑区役所親子ふれあいルーム代表）
- ・ [財務関係] 大和 一雄（有限会社ヤマトサポート代表取締役）

## 5 選定基準（例）等

選定基準（＝審査項目）及びポイント	
1	<b>指定管理者としての適性</b>
	(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針
	① 応募団体が、市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
	① 長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていただくだけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
	(3) 実績や経験など
	① 応募団体が同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
	② 応募団体が施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
2	<b>管理運営計画の適確性</b>
	<b>【有効性】</b>
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
	① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
	② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
	③ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
	(2) 利用者の満足度
	① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
	② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
	③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
	④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
	⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。

<b>【効率性】</b>	
<b>(3) 指定管理料及び収入</b>	
①	指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
<b>(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性</b>	
①	収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
②	経費の配分は適切であるか。
③	積算根拠は明確であるか。
④	再委託が適切な水準で行われているか。
<b>【適正性】</b>	
<b>(5) 管理運営体制など</b>	
①	施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
②	施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
③	施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
④	職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
⑤	地域の住民や関係団体等との連携や協働による事業展開が図られるものであるか。
<b>(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</b>	
①	施設の利用者の個人情報を守るための対策が十分に考えられているか。
②	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
③	防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分に考えられているか。

**【評価レベル】**

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

## 6 審査結果

### (1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準 (=審査項目) 及びポイント	配点	評価レベル					平均	審査結果	得点
			構成員							
			A	B	C	D				
社会福祉法人 北九州市小倉 社会事業協会	1 指定管理者としての適性									
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	3	3	5	4		3.7	4	4
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	4	5	4		4.2	4	4
	(3) 実績や経験など	5	4	3	5	3		3.7	4	4
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	25	3	4	4	4		3.7	4	20
	(2) 利用者の満足度	10	3	3	4	3		3.2	3	6
	【効率性】									
	(3) 指定管理料及び収入	10	4	3	5	3		3.7	4	8
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	4	3	5	3		3.7	4	8
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	15	4	4	5	4		4.2	4	12
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	15	4	4	5	3		4	4	12
合計	100	72	72	93	70				78	
地元団体に対する優遇措置 (3点)									81	

※「平均」欄は小数点第1位まで記入。小数点第2位以下は切捨て

### (2) 検討会における主な意見

- ・理念について、しっかり体系的に基本方針がまとめられているのは評価できた。
- ・人材的なことでいえば、保育所など施設をたくさん経営しているので、福祉分野の経験が豊富な人材がいるように感じた。
- ・利用者の具体的なニーズを引き出すための画期的な新しい提案を感じられれば、もっとよかった。
- ・施設的な管理面、安全面は十分やれていると思うが、安全面を考えすぎるあまり、警備体制がやや厳格なように感じた。

### (3) 検討会における検討結果

応募団体からの提案については、しっかりとした理念に基づいた運営方針や安定した財政基盤、福祉分野の経験豊富な人材を有し、職員の能力の向上や入所者がリフレッシュできる空間の提供等の支援に力を入れていることから、母子生活支援施設の管理・運営に対しての強い意欲を感じた。

以上のことから、応募団体について検討会で審査した結果、適性・効率性・適正性の全審査項目については評価レベル4、有効性の2つの審査項目については評価レベル4と3となり、全体的に市の要求水準を満たしており、一応の

能力を有していることが認められた。

## 7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、社会福祉法人北九州市小倉社会事業協会を指定管理者候補に選定しました。

### (1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

### (2) 市における主な選定理由

- ・平成17年度から指定管理者として、北九州市立小倉母子寮の管理・運営を行っている実績から、施設の設置目的及び福祉施策についてよく理解しており、しっかりした運営方針を定め、入所者に適切な支援を行っている。また同施設の管理に関する意欲が強く感じられる。
- ・協会が他に管理している社会福祉施設との人事交流、人事異動を含めた人材育成により、効率的かつ十分な職員配置ができています。
- ・自己資本比率が高く、財政基盤は安定している。
- ・入所者の生活環境の整備（独自の小額融資制度、家電等の貸し出し、居室のリフォーム等の整備）や生活の利便性の向上（母親の外出時の支援、同行支援）など、入所者に寄り添った支援が提案されており、かつ経費削減も一定程度なされている。

## 8 提案額

- |         |          |
|---------|----------|
| ・平成27年度 | 48,125千円 |
| ・平成28年度 | 48,287千円 |
| ・平成29年度 | 48,125千円 |
| ・平成30年度 | 48,125千円 |
| ・平成31年度 | 48,287千円 |